



2006・春 Vol.3

仙台消防階子乗り広報紙



平成17年 仙台七夕「星の宵まつり」
定禅寺通り
青葉消防団はしご乗り隊

(写真/佐藤恵)



平成18年仙台市消防出初式（仙台市役所前市民広場）

仙台市では、毎年一月六日に市役所前市民広場で消防出初式が行われる。この新春恒例の行事は一体いつの頃から始められたのだろうか。いろいろな文献や資料などをひも解いて行くと、今からさかのぼること百十一年前。明治二十八年の一月四日に行われた消防出初式が記録に残る最古のものとなっている。

元々、仙台消防は仙台開府以来の歴史を持ち、藩政時代には仙台城内や御霊屋、諸社寺院等に「定火消」と称する武家火消の組織と、仙台二十三町には町人で組織する「町火消」が存在していた。維新後の明治二十七年五月、仙台に公設の消防組が誕生したのだが、仙台の消防出初式はこの翌年、公設消防組設置後初めて迎えた新年の一月四日に執り行われたのである。興味深いことに、当時の新聞にこの時の出初

伝統を継ぐ

式において階子乗りの演技が行われたことがはっきりと書かれている。（詳細は六面に掲載）

以降、明治・大正・昭和そして平成と変遷する時代のうねりと共に、消防の組織も消防組、警防団、消防団あるいは消防本部・消防署と変革を遂げてきたわけだが、挙行日が一月六日になったことや、会場が青葉通や西公園になったり、時間が短くなったりだとかはしたものの、百年以上もの間、この式典は行われ続けている。

このことは「消防の心意気を示し士気を鼓舞し、一年の安全と奮闘を誓い合う」という、消防人ならば誰もが持つ出初式に対する特別な思い、「勇ましさ」の継続ゆえなのだろうか。いや、それだけではない。きつと、「永い時間をかけて築いた伝統を、次の世代に伝えていきたい」と真に願う無骨な「優しさ」があるからこそに違いない。





仙台青葉まつり



仙台七夕まつり



暦の上ではもう春。今年度もあと1ヶ月を残すばかりとなりました。そこで仙台消防階子乗りの平成17年度を振り返りつつ、年間の活動を「歳時記」としてまとめてみました。

仙台青葉まつり

5月15日(日)第21回「仙台・青葉まつり」本まつりが行われ、市役所前市民広場と定禅寺通りで、階子乗り演技が披露されました。

11時20分から、特設の栈敷席を用意した市民広場で、宮城野隊・若林隊による演技が行われ、引き続いて定禅寺通において市内7消防団の階子乗り隊演技が行われました。杜の都仙台が最も緑に輝くこの時期、新緑まぶしい「けやき」の下での演技は清廉でいて、かつ華やかです。

ルキャストスタジアム宮城

この年仙台の話題 1とも言えた東北楽天ゴールデンイーグルス。5月27日(金)ルキャストスタジアム宮城において、阪神との試合前のセレモニーに階子乗り

階子乗り歳時記

平成十七年度
はしご

の演技が行われることになりました。が、しかし、演技スタンバイ直前、物凄い豪雨!雷!結局、試合中止で、階子乗りも中止とあいなりました。

仙台七夕まつり

仙台の夏を彩る仙台七夕の「星の宵まつり」8月6日(土)は青葉・太白・秋保隊、7日(日)は宮城野・泉隊が出場し、定禅寺通において顔見世パレードの後、階子乗り演技を披露。暮れ残る空の下、定禅寺通り沿いに鈴なりになった観衆や観光客の前で伝統の華麗な技を繰り出しました。きらびやかな七夕まつりに「はしご」の竹がよく似合います。8日は雨のため中止になりました。

防災フェア2005

9月3日(土)勾当台公園において行われた防災フェア2005に若林消防団階子乗り隊が出場しました。残暑厳しい晴天の中、若林隊の乗り手が得意技を次々繰り出し、防災フェアを見に来ていた大勢の人たちから歓声を浴びました。



仙台七夕まつり



防災フェア



フルキャストスタジアム宮城事前訓

区民まつり・地区まつり

秋の季節にかけて、各区、宮城・秋保地区において行なわれた区民まつり・地区まつりに、各消防団階子乗り隊の演技が披露されました。

仙台市消防出初式

平成18年1月6日(金)新春恒例の「仙台市消防出初式」が市役所前市民広場で行われました。

7消防団の階子乗り隊が勢揃いし、勇壮な観閲行進の後、明治28年から続く伝統の仙台消防階子乗りの演技を大勢の市民の皆様の前で披露いたしました。新年早々7本のはしごが一斉に揃う出初式の演技は厳かで仙台を代表する正月の風物詩です。

仙台市成人式

1月9日(月)「仙台市成人式」が仙台市体育館において行われ、宮城野消防団階子乗り隊による演技が披露されました。階子乗り隊の気迫と乗り手の華麗な技に、会場内を埋め尽くす新成人から割れんばかりの拍手が上がりました。



平成18年仙台市消防出初式



平成18年仙台市成人式



小西さんの華麗な「しゃち」



纏・及川さん



伊藤隆さんの「二本遠見」と「膝八艘」



太白山がかつて仙台港に入る船の目印になっていたことから「木船」を表した纏

太白消防団の階子乗り隊は高橋次男組頭以下28名で構成されています。小頭は庄子勝博本部分団長、纏持ちは及川浩美東中田分団団員、提灯持ち千葉昭弘本部班長、乗り手はベテランの伊藤吉之、熱海順治両本部部長以下5名、支え手は

太白消防団全8分団から2~3名の団員が選抜されて総勢19名で組織されています。

太白階子乗り隊は、現在の「仙台消防階子乗り」のご意見番であり、「階子乗り」という伝統技術の継承者であり、指導者である佐々木芳一

さん(仙台消防階子乗り保存会参与)の自宅のお膝元。佐々木さん(皆は先生と呼びます)の厳しい教えを受けながら、伝統の技を忠実に守る



各消防団の階子乗り隊を

紹介します。(シリーズ)

隊

今回は、太白消防団階子乗り隊を紹介します。

うと乗り手をはじめ、隊員みんなで真剣に訓練に取り組んでいます。訓練は基本的に毎週火・金曜日に佐々木さん宅の訓練場で仕事が終わった時間を利用して行われています。

訓練を重ねた演技を披露して、観

衆から拍手喝采を受けた時の喜びはひとしおですが、今年の出初式でそんな喜びを人一倍に感じた隊員がいました。それは乗り手の伊山聡司さん。伊山さんは平成17年夏に消防団に入団し、階子乗りの乗り手になったばかりの新人で、今年の出初式がいわゆる階子乗りのデビュー戦となりました。本番当日相当緊張した

ようですが、練習を積んできた技を晴れの舞台で披露することができ、多くの市民の声援を受けたのでした。この後、小西比呂武さんと伊藤隆さんの華麗で粋な演技が繰り広げられ、最後のとりは乗り手のリーダー的存在、伊藤吉之さんと熱海順治さん。息がぴたりと合った熟練の二人技で締められました。

太白消防署玄関ホールに飾られている警鐘と纏



出初式の後、佐々木先生を囲み全員で集合撮影

支え手あつての乗り手
支え手も真剣

階子乗り 今昔



宮城県図書館

「仙台消防階子乗り保存会」は、歴史と伝統由来する仙台消防階子乗りの演技と気風を保存し、後継者の育成に努め、仙台市消防の士気高揚を図ることを目的として活動しておりますが、今年度、事務局は何とか仙台の階子乗りを市の文化財に指定できないかと、市文化財課・中富氏らと協力し、階子乗りに関する資料を集めたり、仙台消防階子乗り

苦戦を強いられている状況は否めないが、調査をするなかで、昨年事務局の氏家・佐藤の両名が宮城県立図書館へ出向き、仙台消防階子乗りの資料としては第一級の資料、発祥時と云われる明治28年1月4日の記録を発見してきたのでご紹介します。

両名は明治28年1月に焦点を絞り、宮城県図書館の3階資料室で、古い新聞記事が記録されたマイクロフィルムを写し出してこまめに確認する作業に取り掛かる。すると、東北新聞1月4日と東北日報1月5日(左写真)の記事に階子乗りが行なわれたことが書かれてあるのを発見。すぐさまコピーし事務局へ持ち帰ったのだ。ちなみに両名、明治28年以前の2・3年前までの記事も調べたが発見できなかった。

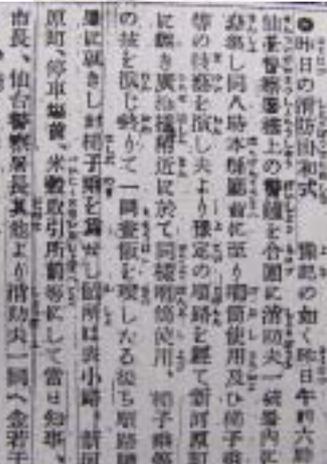
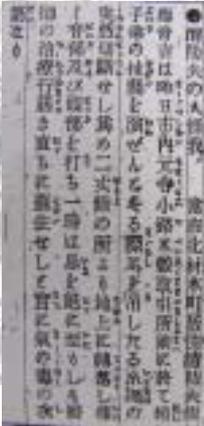
分析すると、ウーム、古い言い回しや文語体、見たことのない字(多分平仮名)等で読み辛いのだが、1月4日の新聞には「本日、消防組の出初式が行なわれ、その時程と行進の経路、演習や梯子上りの演技が行なわれる」旨の内容が、1月5日の新聞には、その出初式の様子が載っていることがはっきりと分かる。

それらの記事によると、午前6時に仙台警察署の警鐘信号で参集し、8時県庁前で出初式式典・演習を実施した後、北一番丁 木町通り 北材木町 元材木町 立町 元柳町 大町 南町 新河原町と行進し、広瀬橋付近で昼食後、荒町 清水小路 仙台駅前 名掛町・新傳馬町 大町 芭蕉の辻の順で行進。階子乗りは県庁前、広瀬橋付近、仙台駅前、米穀取引所(元寺小路)において都合4回実施されたとある。

いや～昔の人は偉かった。などと感心していると、5日付け紙面の別の欄に「消防夫の大怪我」なる記事が目が止まる。何だナダと詳しく見てみると、なんと！この出初式階子乗りの演技最中に「佐藤音吉」なる消防夫がはしごの上から転落し、呼吸停止となり医師による治療で蘇生したことが書かれてあるではないか！これが仙台における階子乗りの初転落事故、公務災害の第1号ということになるのだろうか？(右下写真)

このように階子乗りが明治28年1月4日に実施されたことは証明された。推測するに前述の落下事故の新聞記事から、はしごの高さは現在と同じか、それ以上あったことが考えられ、こうした本格的な階子乗りの演技は一朝一夕でできる筈はなく、乗り手が「技」を正しく習得しなければ演技は不可能であることから、「明治28年以前、

既に仙台では階子乗りが行なわれていて、その「技」が定着していた」と仮定しても否定はできないと思うのだ。もちろんその逆に「当時仙台には階子乗りの技術は無かったが、明治28年の出初式に披露するために例えば東京等へ出向いてその「技」を修練した」と仮定することもできる。しかし、当時の交通事情・情報事情や技術習得までの期間等を考えると、それ以前に仙台で階子乗りがあったとする方がより自然ではなからうか。



東北日報・明治28年1月5日版

乗りの発祥は明治28年からとされており、それ以前のことは極端に資料・情報量とも少なくなる。そして現在、未だ江戸時代、仙台で行なわれた階子乗りに関する資料は発見するに至っていない。

現在、仙台消防階子乗り保存会では明治28年以前の仙台の階子乗りに関する資料や明治28年当時、北材木町(現在の春日町近辺)に在住していた「佐藤音吉」様に関する情報等を探しています。関係するものや情報をお持ちの方は右下事務局までご連絡下さい。

文化財指定に向け協力して下さった市教育局生涯学習部文化財課 中富 洋氏は、平成18年1月急逝されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

消防団は、地域防災の“かなめ”

仙台市では消防団員を募集しています。

入団に関するお問合せは、右記にあります仙台市消防局又は市内最寄りの消防署へご連絡下さい。

消防団に参加しませんか!

仙台消防階子乗り保存会

私たちは階子乗りの歴史と伝統を保存するため、階子乗り隊の活動を支援しています。 会長 藤崎三郎助

ご入会を希望される方は下記事務局までご連絡下さい。

年会費 法人会員 10,000円
個人会員 5,000円

事務局

仙台市青葉区堤通雨宮町2番15号
仙台市消防局総務部総務課内
TEL(022)234-1111
FAX(022)234-1120
syo018010@city.sendai.jp

青葉署	234-1121	青葉区堤通雨宮町 2-15
宮城野署	284-9211	宮城野区苦竹 3-6-1
若林署	282-0119	若林区遠見塚 2-25-20
太白署	244-1119	太白区山田北前町 15-1
泉 署	373-0119	泉区将監 4-4-1
宮城署	392-8119	青葉区落合 2-15-1

編集者後記
消防団が大きく動き出した怒涛の平成17年度でした。ようやくこの「継」3号が発行する運びとなりホッとしています。



平成17年仙台七夕「星の宵まつり」

仙台消防階子乗り保存会会員（順不同・敬称略 平成18年2月1日現在）

(株)藤崎	(社)宮城県銀行協会	(株)西友ザ・モール仙台長町店	(株)ナカガワ	安海 映一
(株)1.4.1	キリンビル(株)仙台工場	みやぎ生活協同組合	イオン(株)仙台フォーラス	馬場 勝男
仙台ターミナルビル(株)	(株)ユアテック	(株)江陽グランドホテル	よろづ園茶舗	伊藤 昭一
NECトーキン(株)	みやぎ仙台商工会	原町消和会	牛なべ入間合名会社	小山 嶺
(株)河北新報社	泉消防友の会	(株)丸重大友工務店	おおまち商店街振興組合	石井 一志
ニッカウエスキ(株)仙台工場	福廣(株)	宮城消防団OB会	ホテルモントレ(株)	柴田 林
仙台商工会議所	消火栓標識(株)仙台支社	青葉消防団親和会	(株)光彩塗料商会	北川 信一
(社)日本損害保険協会東北支部	(株)鐘崎	宮城野消防団親和会	東北スチール(株)	郷湖 忠
宮城県百貨店協会	東北福山通運(株)仙台支店	若林消防団親和会	東洋製缶(株)仙台工場	高橋 幸助
仙台ビルディング協会	第一貨物(株)仙台東支店	太白消防団親和会	東北厚生年金病院	三浦 文江
仙台農業協同組合	バイパスパチンコ	泉消防団親和会	興立産業株式会社	
東北電力(株)	北日本電線(株)	宮城消防団親和会	泉中央駅前地区活性化協議会	
(株)七十七銀行	(株)三越仙台店	秋保消防団親和会	南光台商店街振興組合	
カメイ(株)	仙台市消防機器事業協同組合	消防太白会	(株)東京インテリア仙台泉店	
仙台防火委員会	新日本石油精製(株)	サモール一番町商店街振興組合	(株)三原本店	
(社)仙台市防災安全協会	協同組合仙台卸商センター	(株)ベルモードスズキ	御代町柳町会	
協同組合仙台日観連	泉区建設災害防止協会	株式会社大内屋	(株)ホテル仙台プラザ	